

野ばら 4月号



人生は無限の可能性に満ちている

校長 夏見隆晴

お子様の入学そして進級、まことにおめでとうございます。

中学生として入学してきた子供たちも、半年もたないうちに大人らしくなって、校内では一人前の生徒に変身し、例年のように校舎内を闊歩している姿に変わります。そんな子どもたちに、どう言葉かけをすれば良いのかと、例年戸惑っています。人との出会いは、予期しない時突然やって来るので、慌ててかける言葉を探す羽目になります。入学したての生徒には、相手をまず大人として接すること、これが最良の策かと考えています。

子どもが、特に我が子が大人になって行くのを、そば近くで見守って行かなければならない親の気持ち、そこには期待と不安が入り交ざり、複雑なものがあると思います。可愛かった我が子が、一人前の口を利くようになる。とうとう我が子も自分から離れていくのかという不安もあるが、一方この子も立ち立ちできるようになったのかと思えば、子どもの成長という、親にとっては喜びとなり、神に感謝すべきことでもあるのです。

ところで、作家の五木寛之さんは「失ったものではなく、増えていくものを数えよう」と勧めています。幼かった子どもが若者に成長していく段階で、いかに多くのものを失っていくかということは、あまり問題になりません。この段階では、消えていくこと即成長というのが、自他の目に映っているのかもしれませんが、しかし、人間はある程度成長を遂げると、己の限界というもの意識されるようになり、人は「ないものばかりを数えて」、実は「増えていくもの」があることに気づいていないのかもしれませんが。

人間は、神にとって、取るに足らない小さな存在ではないのだということを、常々自分に言い聞かせながら、誇りを持って生きていく必要があるのではないかと考えています。あなたもわたしも、人は誰でも、神の前では小さな存在にすぎません。しかし、そんなわたしも神によって存在を許され、兄弟姉妹と呼ばれる多くの人たちと共に生きているのですから、大いに意味のある人生だと考えればよいのではないのでしょうか。わたしたちは神が望まれているように生きること、そのことを意識して生きる必要があります。

神によって造られた人間の社会は、限りなく広いものであります。そしてまた、それは限りなく可能性に満ちたものであります。このことを、わたしたち大人は子どもたちに伝えていく義務があるのです。子どもたちは、希望の内に絶えず前進することが出来るように、自らを励ます必要があるのです。ないものばかりを数えるなどということは、未来に向かって進むはずの子どもたちには相応しくありません。わたしたち大人は、責任を以て、未来に生きる子どもたちに対して、人生というものは無限の可能性に満ちているのだと、常日頃から教えておきたいものです。



2017年度 教員の紹介



学年	担任	副担任
中学1年A組	友寄 加奈恵	知念 秀憲 渡名喜幸美 Harry Winfield
B組	本村 直樹	
2年A組	竹田 充	安里 満人 鈴木 恵美
B組	天久 美穂子	
3年A組	真栄里 賢治	譜久村 明美 石垣 真秀
B組	山内 朝美	
高校1年A組	西里 咲	金井 哲也 金城 洋樹
B組	神谷 晃輔	
2年A組	佐野 聡史	枝松ひとみ 神田 直人
3年A組	仲村 俊也	Duncan 啓子 知念 和代

教 頭 二俣 隆則 (保健体育科・剣道)
 佐伯 孝子 (養護) 寺尾 令子 (宗教科)
 上地 かやの (司書) 岸本 幸彦 (保健体育科)
 宮城 孝子 (保健体育科・なぎなた) 石垣 聖子 (高校音楽) 上江洲 由里 (美術科)

4月から着任される先生方
 英語科 山内 朝美、神田 直人、玉城 要
 社会科 後野 夢咲志
 書写・書道 仲里 美智子

休職 英語科 柴田 千絵

3月31日で退任された先生方
 書写・書道 東浦 節子 英語科 金城 円、國吉 瑠美 国語科 糸数 千春

4月の予定



5日 (水)	始業式 入学式予行 (午前登校)
6日 (木)	入学式 高校生教科書販売 (午前登校)
7日 (金)	学級指導 二計測 個人写真撮影 PUP① (一日登校)
8日 (土)	家庭学習日
10日 (月)	授業開始
12日 (水)	委員会活動日①
13日 (木)	内科・耳鼻科検診①
15日 (土)	授業 PUP②
18日 (火)	全国学力調査 (中3対象)
19日 (水)	職員会議 (下校16:20、部活動なし)

20日(木)	内科・耳鼻科検診②
22日(土)	入学感謝ミサ 総合 年度開始挨拶・保護者総会
24日(月)	学力推移①中1～3 ステディサポート①高1～2 総合学力記述①高3
26日(水)～27日(木)	高校1年生 宿泊研修
28日(木)	新入生歓迎会(午後)
29日(土)	昭和の日
5月1日(月)	学園創立記念日(休校)
2日(火)	学園の休日

生徒の頑張り！



☆第37回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール

ソーイング部、21年連続での上位入賞です！

毎年上位入賞者は表彰式(東京)への招待を受けています。

主催：一般社団法人日本縫製機械工業会 後援：文部科学省、経済産業省

2017年3月4日(土)東京での表彰式に出席しました。学年は受賞当時です。

最優秀賞(経済産業大臣賞)	高1	外間	栄美
優秀賞	中2	辺土	百々花
	中3	上地	花鈴
アイデア賞	中2	外間	玲美
佳作賞	高1	大城	アリナ 姫花
	高1	富川	真由
	中3	赤嶺	佳菜美
	中3	山内	彩加

☆平成28年度沖縄県私立中学高等学校学事奨励式表彰

平成28年度沖縄県私立中学高等学校学事奨励式が3月25日に本校キングホールにて行われ、私学学校の生徒として私学の教育理念に則り、文武両道で活躍し、かつ全校生徒の模範となる各校の代表生徒に本校からは2名の生徒が推薦され、表彰されました。学年は受賞当時です。

推薦理由

高1 外間 栄美 第36回、第37回ホームソーイング小中高校生作品コンクールにて最優秀賞を2年連続受賞。連続での受賞は、同コンクールにおいて初の快挙であった。豊かな発想力と日頃からの弛まぬ努力で、他の生徒の模範となっている。

中2 島袋 朝龍 2016年度IJGT日本代表選考会決勝大会U-14(ゴルフ)全国第4位、同沖縄地区予選優勝。学業とゴルフのレッスンの両立に励む中、生徒会役員としても活躍し、他の生徒の模範となっている。